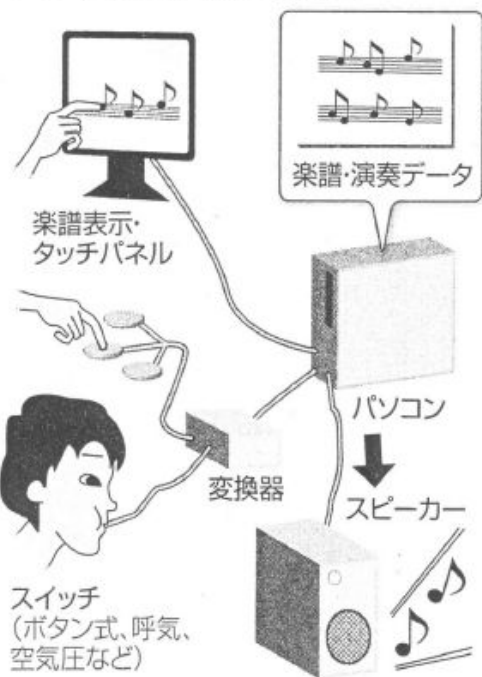




「サイミス」は、プログラム化した楽譜を利用した全く新しい電子楽器である。大阪大院・情報で開発され、2008年福祉施設で実証実験が開始された。東北大医、三重大医、武庫川女子大音楽等の協力を得て、現在国内外の福祉・医療・教育関係の施設で使用されている。

サイミスの仕組みの略図



サイミスは、プログラム化した楽譜を利用した全く新しい電子楽器である。大阪大院・情報で開発され、2008年福祉施設で実証実験が開始された。東北大医、三重大医、武庫川女子大音楽等の協力を得て、現在国内外の福祉・医療・教育関係の施設で使用されている。



(←読売新聞阪神版 2012年8月3日より)

成果

「アクセシビリティ」障害があるためできなかった演奏が、サイミスでできるようになった。

- 「音楽が好き」 障害者支援の施設で34名(概ね2/3の人)が週1回演奏(自由意志, 個人セッション)！！
- 「リハ効果」 運動機能の改善が見られた(脳卒中, 脳性麻痺)
- 「心理的効果」 気分が向上(演奏後)
- 「生きがい」 障害があっても、自分の力で演奏できるという喜びや達成感を味わっておられる！！
- 「生活の一部」1つの施設では18名(定員の約1/3)が個別支援計画にサイミスを指定
- 「エビデンス」 成果が国際的な科学論文誌(Adv Biomed Eng 2017)に掲載されている(文献参照)
- 「健常高齢者」 合奏を楽しまれている(認知症予防のためのpilot study)

- 「操作は簡単」 標準のwindowsのコンピュータを使用する。
- 「ユーザインタフェース」 タッチパネル, スイッチ, USBスイッチなど市販品が使用できます。
- 「ソフトウェア」 サイミスのソフトウェアの無償版あります。
- 「国際的です」 チェコ音楽療法協会でも利用されています。2012年, 日本から重度の障害のある2名が招待されプラハで演奏。
- 「支援者の声」 明るくなった
- 「利用者の声」 演奏が待ち遠しい, 音楽が好き。
- 「施設運営の上で」 いつも 音楽と共に 施設内が明るい笑顔・挨拶・笑い声 サービスの充実(ワンランク上のケア)
- サイミス ホームページ: <http://www.cymis.jp>
- 文献 Akazawa K, et al.(2017) Novel Electronic Musical Instrument with Pre-Programmed Score for the Disabled to Enjoy Playing Music. Advanced Biomedical Engineering 6: 1.7.